

日本バレーボール協会指導普及副委員長である緒方先生をお招きし、県小連指導普及委員会主催による“指導者向け”講習会を開催しました。

【御礼】緒方先生をはじめ、当日会場校として体育館をご提供頂きました千葉商大附属高校の皆様、当日対応頂きました役員の皆様、そして、バレーポラーの子供達の指導に熱心な指導者の皆様、及びモデルチームとして参加頂きました丸山VCB、浦安(男女)チームの関係者の皆様、本当に有難うございました。



【座学】Teachingに関して、指導者に求められる6つの基本技術の習得を様々な事例を交え、楽しく受講出来ました。



【実技】6つの基本技術をどのように子供達へ伝達すべきかを実技を通し、指導者目線で客観的に観察することが出来ました。

今回の普及指導は、指導者向け講習会として開催させて頂きました。遠路のところ、たくさんの指導者様にご参加頂き、大変感謝致します。

本日を振り返り、改めてバレーボールが他球技とは異なり、子供だけではなく、大人にとっても大変難しいスポーツであることが再認識出来た事は勿論のこと、従来の心・技・体に「知」が出現したことにより、指導者として子供達へ教えるべき広義のバレーボールの技術の幅が広がっていると感じました。

小学生バレーポラーの指導者にとって、ティーチングの位置づけが変化しつつある現状を踏まえ、再度、バレーボールの基本技術を認識頂き、子供達のためにお手本となる指導者となれますよう、今後も尽力頂ければと思います。